

大学院両研究科共通科目 生命と生活の質(QOL)特論

2017年度授業予定(土曜日開講)

■講義内容

回	日程	時間	テーマ	内容	講師
1	5/13 (土)	12:55～ 14:25	授業ガイダンスと担当教員によるイントロダクション	QOL (Quality of Life) とは何だろうか。これから15回にわたって、4つの学問分野からQOLについて受講生のみなさんと一緒に考えていきます。第1回目は、これから、どのような視点で何に焦点を合わせて論じようとしているかについて、4人の講師が語ります。	担当講師全員
2		14:40～ 16:10	特別講演	本邦でQOLが問われ出したのは平成時代に入ってからである。このようにQOLが問題視されるようになり、更に、年齢によってQOLが変化するのは何故であろうか？	理事長 江里健輔
3	5/20 (土)	10:25～ 11:55	栄養学からQOLについて考える①	「健康な暮らし」を考えると、食生活は重要な要素になる。では、「QOLを高める食生活」とはどのようなものを言うのか、多角的に考えてみたい。	看護栄養学部 教授 乃木 章子
4		12:55～ 14:25	法学からQOLについて考える①	ACP (Advance Care Planning) とは何だろうか。ACPとアドバンスディレクティブ、リビングウィルなどとの関係について整理するとともに、多様なACPについて紹介する。	社会福祉学部 教授 藪本 知二
5		14:40～ 16:10	法学からQOLについて考える②	ACPがもつ意味を法学的観点から考える。成年後見制度においてACPがもつ意味についても考えたい。	社会福祉学部 教授 藪本 知二
6	5/27 (土)	10:25～ 11:55	栄養学からQOLについて考える②	前週に考えた「QOLを高める食生活」を実行するためには、何が必要なのでしょう。もう一歩進めて具体的に考えてみたい。	看護栄養学部 教授 乃木 章子
7		12:55～ 14:25	母子関係のQOLについて考える①	少子化の時代において母親の育児困難が増加しているという現代社会現象は未来の社会にどのような影響を及ぼすかを考える。	看護栄養学部 教授 浦山 晶美
8		14:40～ 16:10	母子関係のQOLについて考える②	母子関係のQOLは次世代にも影響を及ぼすといわれているが、関係性の質を高める具体的な方法を紹介し、その意味を考える。	看護栄養学部 教授 浦山 晶美
9	6/3 (土)	10:25～ 11:55	異文化理解がもたらすQOL①	国と国との間の異文化理解だけでなく、日ごろの生活のなかでも異なった文化をよりよく理解することでQOLが高まる。世代間、性別間、地域間の異文化理解を考える。	国際文化学部 教授 ウィルソン エイミー
10		12:55～ 14:25	異文化理解がもたらすQOL②	ワークショップ形式で異文化理解をするために、必要なことは、を考えてみる。また、異文化理解の学問からの考え方について学ぶ。	国際文化学部 教授 ウィルソン エイミー
11	6/10 (土)	10:25～ 11:55	アメリカのセルフ・ヘルプ・ブーム	今アメリカでは、自己啓発の本が爆発的に売られ、ブログやホームページを立ち上げたビジネスも相次いでいる。と同時に、うつ病などを経験しているアメリカ人は増えている。現代社会がもたらすストレスとその対処法からQOLを考えてみる。	国際文化学部 教授 ウィルソン エイミー
12		12:55～ 14:25	第2の人生のQOL、生きがいについて	生きがいを持って人生を送りたいが、どのような生きがいがあるか、どのように生活を変えてゆけばいいか、世代ごとに合った生きがいについて考えてみる。	国際文化学部 教授 ウィルソン エイミー
13	7/1 (土)	10:25～ 11:55	分科会・ディスカッション	4つの分科会に分かれてグループ・ディスカッションをする。	担当講師全員
14		12:55～ 14:25	全体会 第1分科会・第2分科会報告および質疑応答	第1分科会および第2分科会での討論の内容を15分程度にまとめて、全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。	担当講師全員
15		14:40～ 16:10	全体会 第3分科会・第4分科会報告および質疑応答	第3分科会および第4分科会での討論の内容を15分程度にまとめて、全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。	担当講師全員